

○ジュニア世界選手権と出場資格・選考対象

2022 年 7 月 10～16 日にポルトガルにて開催予定。ロング、ミドル、スプリント、リレーの 4 種目、5 レースが行われる。2002 年 1 月 1 日以降に生まれた選手に出場資格がある。また、選考対象となるためには、2022 年度の競技者登録ならびにアドバンス選手登録が必要である。

○代表選手の選考会の対象となる大会について

静岡県オリエンテーリング協会に助力いただき、4 月 23 日(土)に開催が予定されている「富士山麓大会(<https://omf.o-support.net/>)」にて、JWOC(および WUOC)の選考対象クラスが設定される。代表を目指す選手は本大会の対象クラスにエントリーすること。なお、JWOC と WUOC の選考は同じコースにて行われるため、両方の代表を目指す選手であっても、選考対象クラスに出場すればよい。

なお、世界的な感染症流行の影響により、JWOC2020 は翌年に延期、JWOC2021 は当初の 7 月から 9 月に延期となるなど、現時点では今年の開催も不透明である。また、開催されたとしても、実際の海外遠征が困難な状況であることから、選考会当日は内定者を含めて男女最大 4 名までを選考し、以降最大 8 位までの補欠順位を決定する。選考および補欠順位は、当日のレース成績と、2021 年 10 月 20 日公開の「2022 年に向けた活動方針と選手選考について(<http://www.orienteering.or.jp/wp-content/uploads/Foot-O-NT/ActionPlan2022.pdf>)」で示した以下の参考レースの成績から総合的に判断する。

○AsOC の成績による選考について

2022 年 5 月に韓国にて開催予定の AsOC に出場し、M/W20E で優勝した選手が選考会当日に選考された選手と重複していない場合、JWOC 代表選手に選考される。この場合、補欠選手の順位は 1 つずつ繰り下がることになる。

○代表内定について

3/27 の中高選手権大会終了までに U-20/18 強化選手かつ選考レースで特に優れた成績を収めている選手は、選考会を待たずに代表に内定することがある。内定者は選考会当日までに JOA のサイトにて公表される。

参考レース:

10/23 全日本ミドル(長野県)

10/24 全日本ロング(長野県)

11/13 伊勢原スプリント(神奈川県)

11/20 インカレスプリント(栃木県)

11/21 インカレロング(栃木県)
12/26 WMG プレイベ スプリント(兵庫県)
2/5 インカレミドル(三重県)
3/27 中高選手権大会個人戦(愛知県)
4/17 ジュニアチャンピオン(東京都)

補欠 8 位までに選ばれた選手は、U20 強化指定され、選考会以降の強化合宿に参加することができるほか、JWOC 以降も 12 月までの強化活動に参加できる。感染症の状況などを踏まえ、JWOC 選手エントリーの締切である 6 月 26 日までに、補欠選手も合わせて最大男女 6 名ずつを代表選手として決定する。

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会
ジュニア委員会・強化委員会
E-mail: kyouka@orienteer.jp